



# 数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
本工事費					
大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事					
機器費					
インバータ	型式:P1-370HFF 400V、37kW、3相	台		1	
コンバータ	型式:HS910-370HF 400V、42kVA、3相	台		1	
電源側交流リアクトル	型式:ACL-G1-37H5 400V、37kW	個		1	
本体側交流リアクトル	型式:ACL-G2-37H5 400V、37kW	個		1	
出力側交流リアクトル	型式:ACL-H2-37 400V、37kW	個		1	
ラジオノイズフィルタ	型式:ZCL-A 400V、37kW	個		4	
アイソレータ	型式:TP2-A7F1	個		1	
アナログメモリ	型式:210AMA	個		1	
労務費					
一般労務費					
電工	インバータ 据付・撤去	人			
電工	インバータ 試験調整	人			
電工	コンバータ 据付・撤去	人			
電工	コンバータ 試験調整	人			

# 数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
電工	リアクトル 据付・撤去	人			
電工	ラジオノイズフィルタ 据付・撤去	人			
電工	アナログメモリ 据付・撤去	人			
電工	アナログメモリ 試験調整	人			
電工	アイソレータ 据付・撤去	人			
普通作業員	インバータ 据付・撤去	人			
普通作業員	コンバータ 据付・撤去	人			
普通作業員	リアクトル 据付・撤去	人			
普通作業員	ラジオノイズフィルタ 据付・撤去	人			
普通作業員	アナログメモリ 据付・撤去	人			
普通作業員	アイソレータ 据付・撤去	人			
技術労務費					
電気通信技術者	インバータ 据付・撤去	人			
電気通信技術者	インバータ 試験調整	人			
電気通信技術者	コンバータ 据付・撤去	人			
電気通信技術者	コンバータ 試験調整	人			
電気通信技術者	リアクトル 据付・撤去	人			

# 数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
電気通信技術者	ラジオノイズフィルタ 据付・撤去	人			
電気通信技術者	アナログメモリ 据付・撤去	人			
電気通信技術者	アナログメモリ 試験調整	人			
電気通信技術者	アイソレータ 据付・撤去	人			
直接経費					
機械経費(率分)					
機械経費	率分	式		1	
仮設費					
仮設費(率分)					
仮設費	率分	式		1	
直接工事費計					
間接工事費					
共通仮設費					
共通仮設費(率分)					
共通仮設費	率分	式		1	
準備費(積上分)					
産業廃棄物処理	産業廃棄物収集運搬及び処分	式		1	

# 数量総括表(設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
純工事費					
現場管理費					
現場管理費(率分)					
現場管理費	率分	式		1	
据付間接費					
据付(技術者)間接費					
据付(技術者)間接費	率分	式		1	
据付(機器)間接費					
据付(機器)間接費	率分	式		1	
間接工事費計					
据付工事原価					
計(工事原価)					
一般管理費等					
一般管理費等(率分)					
一般管理費等	率分	式		1	
契約保証費(率分)					
契約保証費	率分	式		1	



# 特記仕様書

(大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事)

## 第1章 総 則

### 第1条 (適用)

1 この仕様書は、「大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事」に適用するもので、その実施にあたっては、「栃木県土木工事共通仕様書」、「栃木県土木工事施工管理基準」、「機械設備工事標準仕様書」、「機械設備工事一般仕様書」、「電気設備工事一般仕様書」、「契約書」に準拠するとともに、本仕様書により施工するものとする。

ただし、本仕様書と共通仕様書が重複する条項で内容が一致しない場合は、本仕様書が優先する。

### 第2条 (対象設備及び工事場所)

修繕対象設備及び工事場所は以下のとおりである。

(1) 修繕対象設備 (主要機器を記載、その他の交換部品は別添見積書の材料一覧を参照のこと)

① インバータ

既設：J300-370HF5 ((株)日立製作所製)

施工者：(株)日立製作所

制御対象機器：No.1 又はNo.2 主ポンプの一方 (定格 37kW)

…2台運転時は1台をVVVF制御による可変速、1台を固定速とする。

定格電流：75A

入力：380-415V, 50Hz, 3相

出力：380-460V, 3相

最大電力：37kW

② コンバータ

既設：RG300-370HF2 ((株)日立製作所製)

施工者：(株)日立製作所

制御対象機器：No.1 又はNo.2 主ポンプの一方 (規格 37kW)

…2台運転時は1台をVVVF制御による可変速、1台を固定速とする。

定格電流：61A

入力：400-415V, 50Hz, 3相

出力：680-720V, 3相

最大電力：42kVA

③ その他、インバータ及びコンバータ修繕に必要な機器

(2) 工事場所

大岩藤浄化センター 栃木県栃木市藤岡町藤岡 4018

### 第3条 (安全管理)

1 請負者は、工事の実施にあたり栃木県土木工事等施工技術安全指針及び保安、公衆衛生等に

関する諸法規を厳守するとともに工事の安全に留意し、災害、事故等の防止に努めなければならない。

- 2 工事計画に影響を与える事故及び人命にかかわる事故、若しくは第三者に損害を与える事故が発生した時は、応急処置を講ずるとともに、遅滞なくその状況を監督員に報告しなければならない。

#### 第4条（提出書類）

- 1 請負者は、工事に先立ち「施工計画書」（1部）を提出するものとする。
- 2 請負者は、工事工程計画表、写真及び監督員が指示するものについて作成し提出するものとする。

#### 第5条（作業の確認等）

請負者は、原則として主要作業の段階毎に、作業内容及び進捗状況を監督員に報告し、承諾を得たうえで次の作業に進むものとする。また、現地工事中は、週間工程表を前週末までに提出し、他の設備に影響がある作業が発生する場合は前もって監督員と検討するものとする。

#### 第6条（損賠の賠償等）

請負者は、浄化センターの土地、工作物等を使用する場合は、浄化センター管理者の承諾を得てから使用するものとする。なお、浄化センターの土地、工作物等を使用した場合は、原形に復旧するものとし、既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、請負者の責任において賠償するものとする。

#### 第7条（資料の貸与）

請負者は、本工事实施に際して設備の資料等の貸与を受けたい時は、監督員に申し出て貸与を受けることができる。なお、貸与を受けた資料は丁寧に取り扱い、作業完了後に速やかに返却するものとする。

## 第2章 工事範囲等

#### 第8条（工事範囲）

本工事の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 現地で既設インバータ及びコンバータの撤去、新規インバータ及びコンバータの据え付け。
- (2) 既設インバータ及びコンバータのパラメータ読み込み、新規インバータ及びコンバータのパラメータ設定、アナログメモリのパラメータ読み込み及び設定。
- (3) その他必要な周辺部品の撤去、据え付け及びそれらの設定。ただし、交換する部品は上記インバータ及びコンバータと協調動作が可能なものを選定すること。
- (4) 試運転調整
- (5) その他、本工事目的のために必要なこと。

#### 第9条（交換部品及び材料）

本工事における交換機器及び材料については、発注者指定の規格及び寸法のものを使用するものとし、変更が生じた場合は、監督員に報告し指示を受けるものとする。

#### 第10条（工事要領）

- 1 工事は当センターで実施している日常業務に大きな影響を及ぼすことなく、速やかに完了させなければならない。
- 2 工事に従事する作業員は、経験を有する者でなければならない。
- 3 分解、組み立て等の作業は、手順よく確実に行わなければならない。
- 4 部品等は、最新の注意を払い破損のないように取り扱わなければならない。
- 5 据え付けに際しての消耗部品は、すべて交換するものとする。
- 6 本工事の作業環境においては、「電離放射線障害防止規則」に基づき放射線対策を実施しなければならない管理区域はないが、今後の状況により放射線対策が必要な場合は、別途協議の上対応する。

#### 第11条（材料検査）

本工事に使用する購入部品及び材料は、製造者の品質証明書等で確認ができるものとし、監督員の承諾を得て使用するものとする。また、工事完了時は材料検査成績書を提出するものとする。

#### 第12条（試運転調整）

工事完了後は、監督員立会のうえ試運転を実施したうえ、必要な調整を実施するものとし、所定の目的が達成されていなければならない。

#### 第13条（完成検査）

完成検査は、所定の手続きを経て実施するものとし、その結果の合格をもって引き渡しを完了するものとする。

## 共通特記仕様書

1. この共通特記仕様書は、公益財団法人とちぎ建設技術センターが発注する工事に係る工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一した解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行を図るものである。
2. 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

(●:適用する ○:適用しない)

項目	事 項
現場代理人の常駐義務の緩和及び専任の主任技術者の兼任等	<p>○ 1 本工事は、現場代理人及び主任技術者の他工事との兼任は認めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通量が多い現道上の工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。</li> <li>○ 急傾斜地での工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。</li> <li>○ 当該工事は_____であり、現場代理人が他の工事と兼任した場合、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障があるため、兼任は認めない。</li> <li>○ 理由:</li> </ul> <p>● 2 本工事における現場代理人について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。ただし、作業工程上、受注者が安全管理や現場の運営・取締りなどの面で、現場代理人の常駐が必要と判断した間は、この限りではない。</p> <p>(要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 他工事が、(公財)とちぎ建設技術センターが発注する同一土木事務所管内の工事であり、それらの工事の特記仕様書に兼務が可能である旨明記されていること。</li> <li>(2) 兼任できる箇所は2箇所までとし、本工事及び他工事の請負代金が5,000万円未満であること。</li> <li>(3) 兼任する工事の請負代金が3,500万円以上の場合は、現場代理人が現場から不在となる間、現場の運営・取締りを行える者(以下「連絡員」という。)を選任し、常駐させられること。</li> </ul> <p>● 3 本工事における主任技術者(監理技術者は除く。)について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。</p> <p>(要件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 他工事が、(公財)とちぎ建設技術センターが発注する同一土木事務所管内の工事であり、それらの工事の特記仕様書に兼任が可能である旨明記されていること。</li> <li>(2) 兼任できる箇所は2箇所までとし、本工事及び他工事の請負代金が5,000万円未満であること。</li> </ul> <p>※なお、主任技術者を現場ごとに専任で置く必要がある工事は、「公共性のある工作物に関する重要な工事」で、「請負金額が3,500万円以上」の工事をいう。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条) また、発注者から直接請け負った工事のうち4,000万円(※土木工事の場合)以上を下請負契約して工事を施工するときは、主任技術者に代えて「監理技術者」を専任で置かなければならない。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第2条)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 4 現場代理人と主任技術者等の兼務は可能である。</li> <li>● 5 受注者は、現場代理人又は主任技術者を他工事と兼任したい場合は、「工事打合せ簿」により承諾を受け、他工事の「現場代理人及び主任技術者等(選任・変更)通知書」の提出の際に、当該工事打合せの写しを添付すること。また、連絡員についても、他の工事の上記通知書の提出の際に、その氏名等を届け出ること。</li> </ul>
施工箇所が点在する工事	<p>○ 施工箇所が点在する工事</p> <p>1 本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、『流域下水道』(施工箇所 )、『流域下水道』(施工箇所 )ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算」を準用する工事である。</p> <p>2 本工事における共通仮設費の金額は、対象地区ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。 なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(施工地域等)については、対象地区ごとに設定する。</p>

## 共通特記仕様書

1. この共通特記仕様書は、公益財団法人とちぎ建設技術センターが発注する工事に係る工事請負契約書及び設計図書の内容について、統一した解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行を図るものである。

2. 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。

(●:適用する ○:適用しない)

項目	事 項
余裕期間設定工事	<p>● 本工事は、余裕期間設定工事である。</p> <p>次に示す余裕期間設定工事実施要領のほか、以下の事項を参考とすること。</p> <p>実施要領URL(県HP) <a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/h01/pref/nyuusatsu/koukyou/documents/20250325142051.pdf">https://www.pref.tochigi.lg.jp/h01/pref/nyuusatsu/koukyou/documents/20250325142051.pdf</a></p> <p>1 主任技術者又は監理技術者の専任期間等</p> <p>(1)契約締結日の翌日から工事着手日の前日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要さない。</p> <p>(2)工事着手日から工事目的物引渡し日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要する。</p> <p>(3)工事着手日から現場着手日の前日までの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。</p> <p>(4)事務手続き及び後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。</p> <p>(5)工事完成後、工事目的物の引渡し日までの期間については、原則、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要さない。</p> <p>2 工期</p> <p>本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限日までの間(工事着手ができない期間を除く)で、受注者は工事着手日を任意に設定することができる。</p> <p>なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、余裕期間設定工事試行要領で定める「工事着手通知書(別記様式)」により、発注者へ工事着手日を通知すること。</p> <p>余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置は要さない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことはできるが、測量、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行うことはできない。</p> <p>なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責任により行うことになる。</p> <p>工事着手期限: 契約締結日の翌日から起算して30日を経過する日の翌日まで</p> <p>3 CORINSへの登録(栃木県土木工事共通仕様書 1-1-5CORINSへの登録)</p> <p>CORINSへの登録は、契約後10日以内(土日祝日を除く。)に行うこと。</p> <p>また、技術者の従事期間は、実工期の期間(契約書に記載されている工期)をもって登録すること。(余裕期間を含まないことに留意する。)</p>
週休2日制工事	<p>○ 1 本工事は「栃木県県土整備部週休2日制工事実施要領」に基づく工事である。(発注者指定型)</p> <p>● 2 本工事は「栃木県県土整備部週休2日制工事実施要領」に定める受注者の希望により週休2日制工事が実施できる工事である。(受注者希望型)</p> <p>要領URL: 県HP <a href="https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/pref/shuukyuu/documents/20241129113837.pdf">https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/pref/shuukyuu/documents/20241129113837.pdf</a></p>

大岩藤浄化センター  
電気設備修繕工事

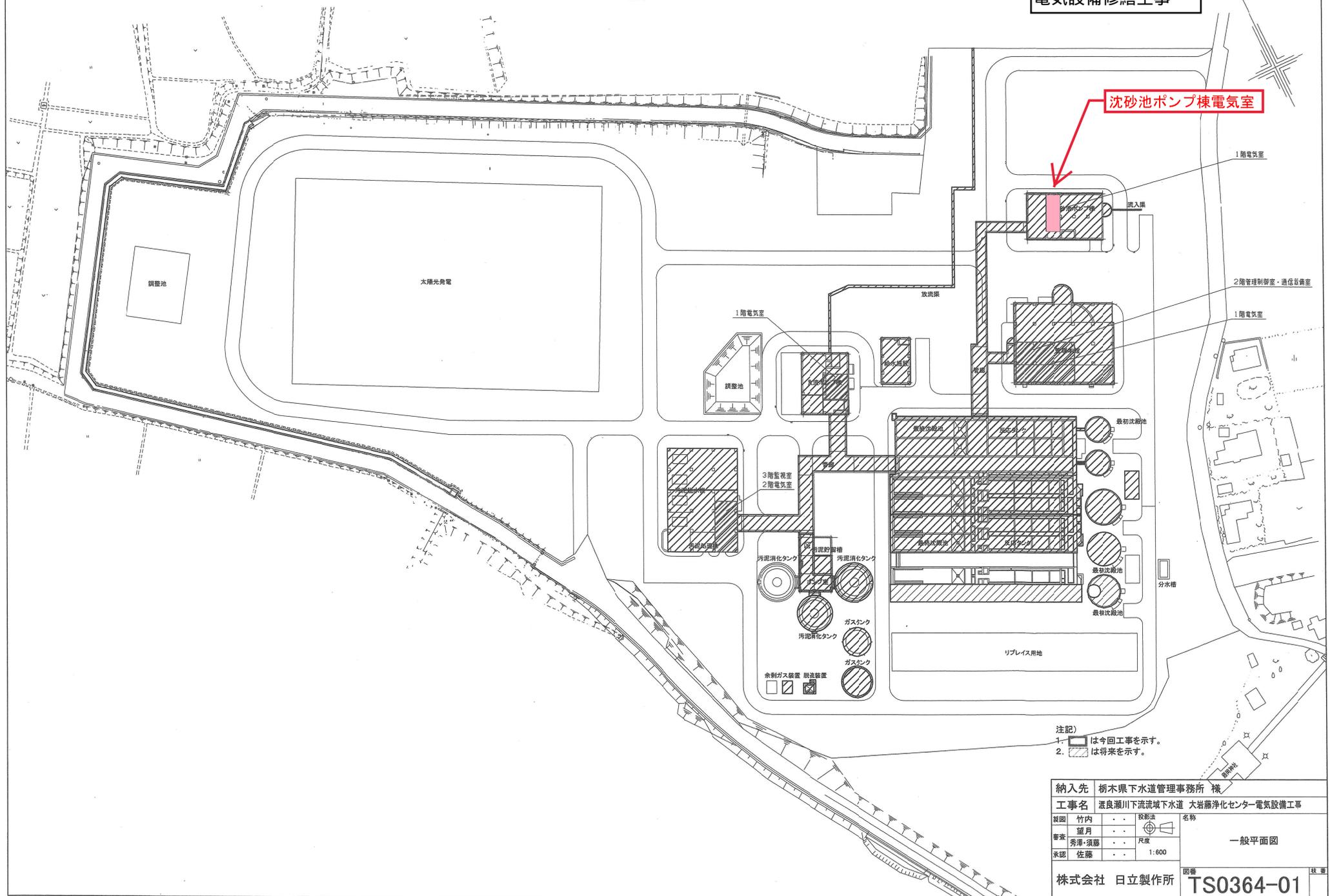
# 位置図 1:50,000



## 計画諸元

項目	全体計画	事業計画
1. 目標年次	平成38年	平成33年
2. 処理面積	1,801ha	1,263ha
3. 処理人口	40,570人	34,000人
4. 排除方式	分流式(汚水)	分流式(汚水)
5. 処理水量	22,700m <sup>3</sup> /日	17,360m <sup>3</sup> /日

大岩藤浄化センター  
電気設備修繕工事



- 注記)
1. [Hatched Box] は今回工事を示す。
  2. [Dotted Box] は将来を示す。

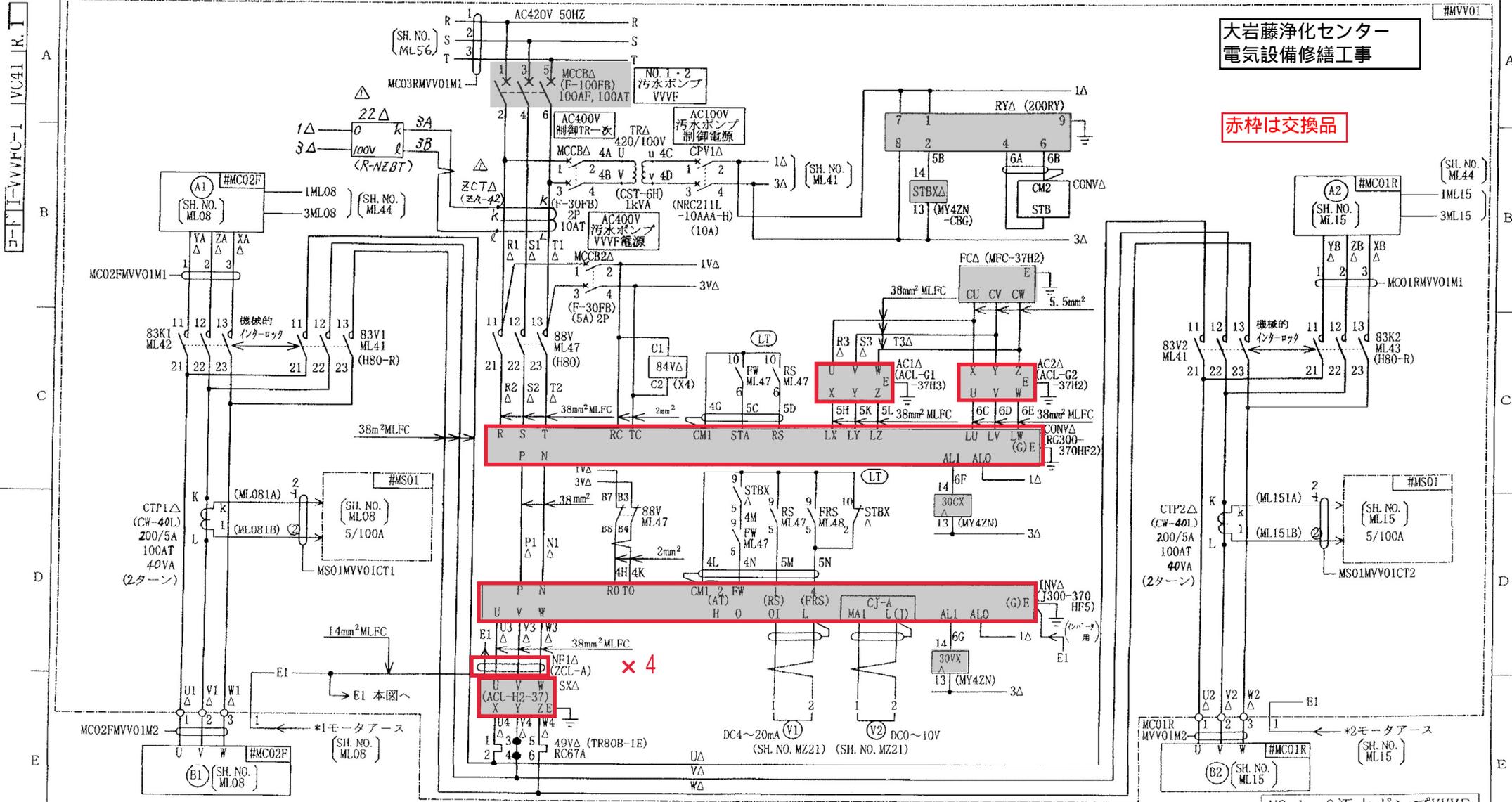
納入先	栃木県下水道管理事務所 様		
工事名	渡良瀬川下流域下水道 大岩藤浄化センター電気設備工事		
製図	竹内	・	図形法
製図	重月	・	名称
審査	秀澤・須藤	・	尺慮
承認	佐藤	・	1:600
製図	株式会社 日立製作所		図番
			TS0364-01



331SGA9386

大岩藤浄化センター  
電気設備修繕工事

赤枠は交換品



NO.1・2汚水ポンプVVVF

インバータ  
コンバータ  
電源側リアクトル  
本体側リアクトル  
出力側リアクトル  
ラジオノイズフィルタ

器具	a		b		器具	a		b		器具	a		b		器具	a		b	
	1	2	1	2		1	2	1	2		1	2	1	2		1	2	1	2
84V Δ	11	21	12	22	30CX Δ	9	5	9	1	STBX Δ	9	5	9	1					
	14	24	13	23		10	6	10	2		10	6	10	2					
						11	7	11	3		11	7	11	3					
						12	8	12	4		12	8	12	4					
30VX Δ	9	5	10	6															
	10	6	11	7															
	11	7	12	8															
	12	8																	

記号末尾の△印は本SH. NO. を示します。  
盤NOの記入なき器具は# に取付けます。

NO.1・2主ポンプ(1) Sheet No. ML40

SIGNATURE	DATE	TITLE
OWN (助川)	2002-12-25	展開接続図
CHKD. 中野	2002-12-25	
APPD. 佐藤	2002-12-25	

Hitachi, Ltd. Tokyo, Japan 331SGA9386

2023/02/07 ML40 A216126 (大岩藤)

331SGA9386

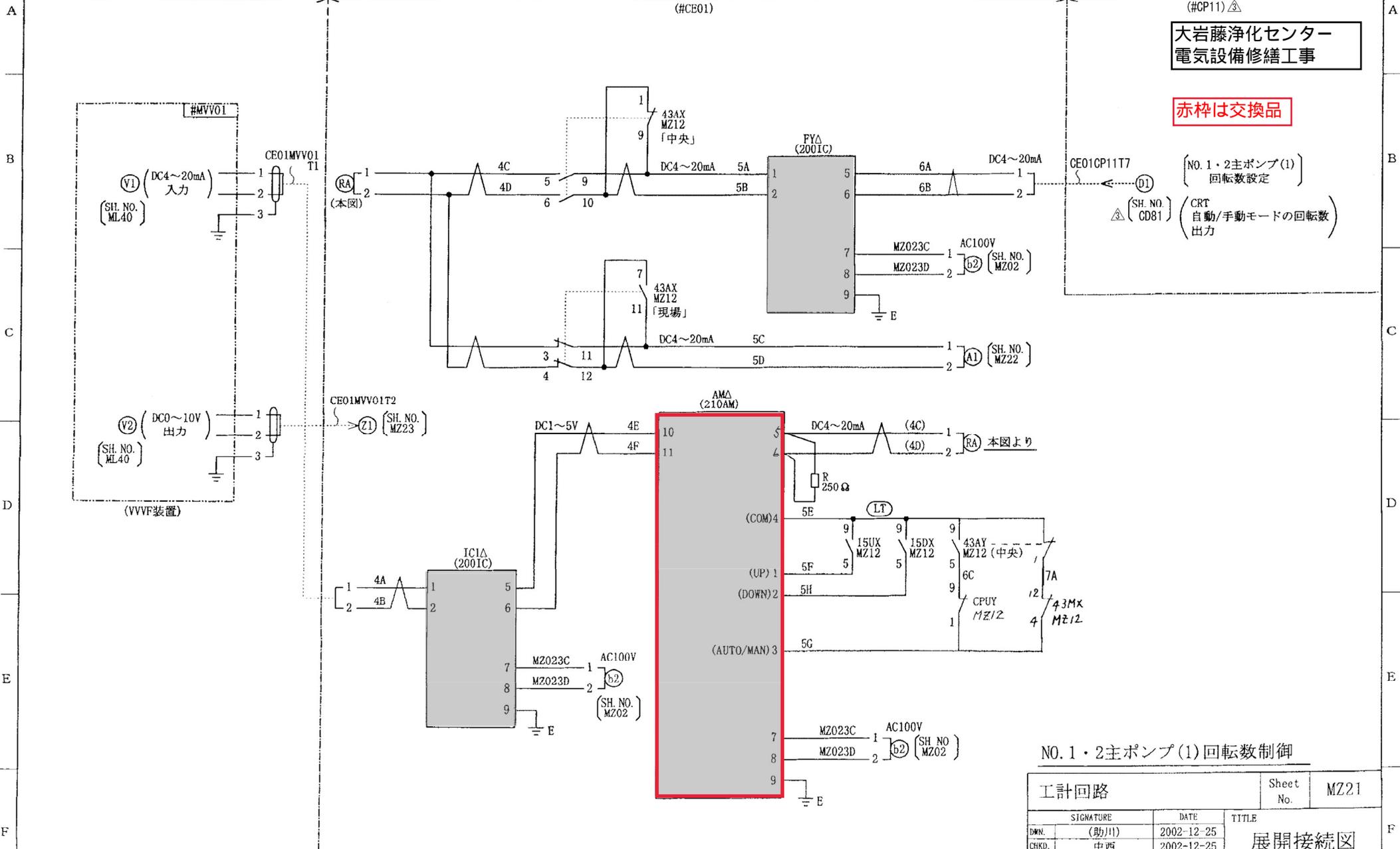
計装交換器盤 (#CE01)

シーケンスコントローラ (#CP11) △

大岩藤浄化センター  
電気設備修繕工事

赤枠は交換品

NO.1・2主ポンプ(1)  
回転数設定  
△ (SH. NO. CD81) (CRT  
自動/手動モードの回転数  
出力)



アナログメモリ

記号末尾の△印は本SH. NO. を示します。  
盤NOの記入なき器具は# に取付けます。

NO.1・2主ポンプ(1)回転数制御

工計回路		Sheet No.	MZ21
SIGNATURE	DATE	TITLE	
DWN. (助川)	2002-12-25	展開接続図	
CHKD. 中西	2002-12-25		
APPD. 佐藤	2002-12-25		
RECD	Hitachi, Ltd. Tokyo Japan	OMIKA DWG. No.	PAGE REV.
	331SGA9386	13	3

2003/02/03 MZ21 A216126 (大岩藤)

331SGA9386

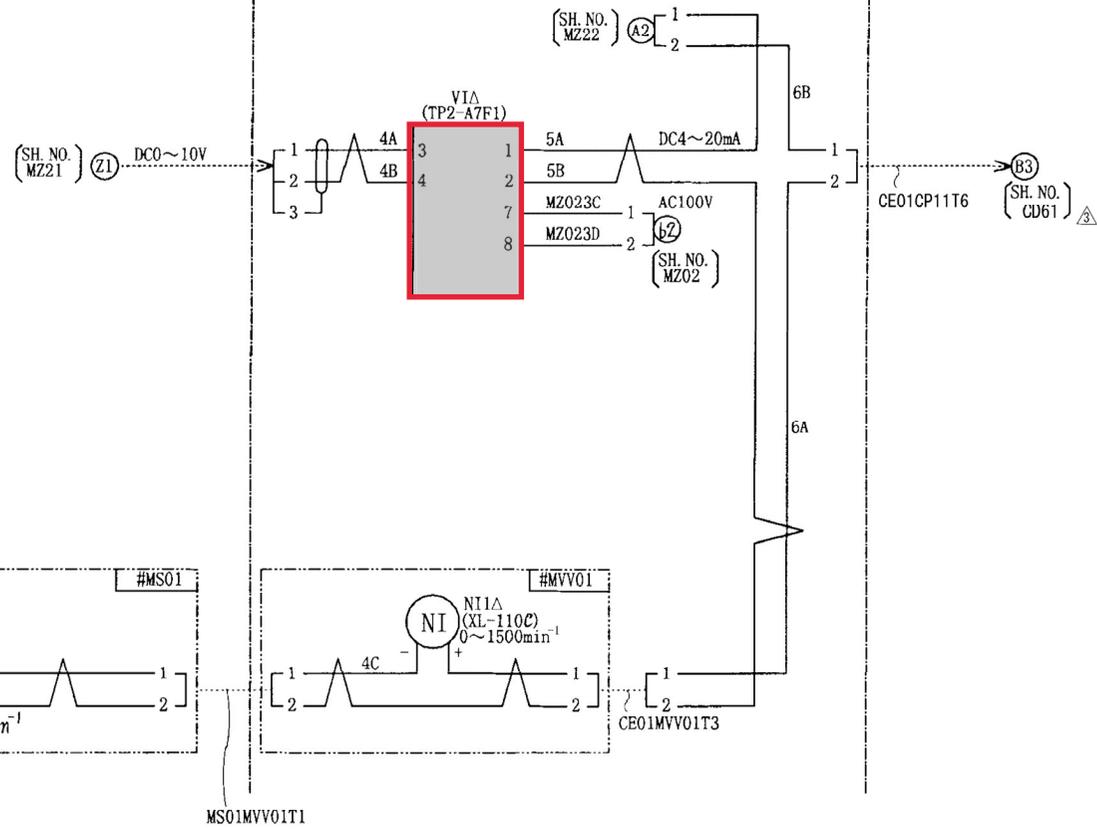
大岩藤浄化センター  
電気設備修繕工事

現場

計装変換器盤  
(#CE01)

シーケンスコントローラ  
(#CP11) △

赤枠は交換品



MS01MVV01T1

CE01MVV01T3

アイソレータ

記号末尾の△印は本SH. NO. を示します。  
盤NOの記入なき器具は# に取付けます。

NO. 1・2主ポンプ(1)回転数

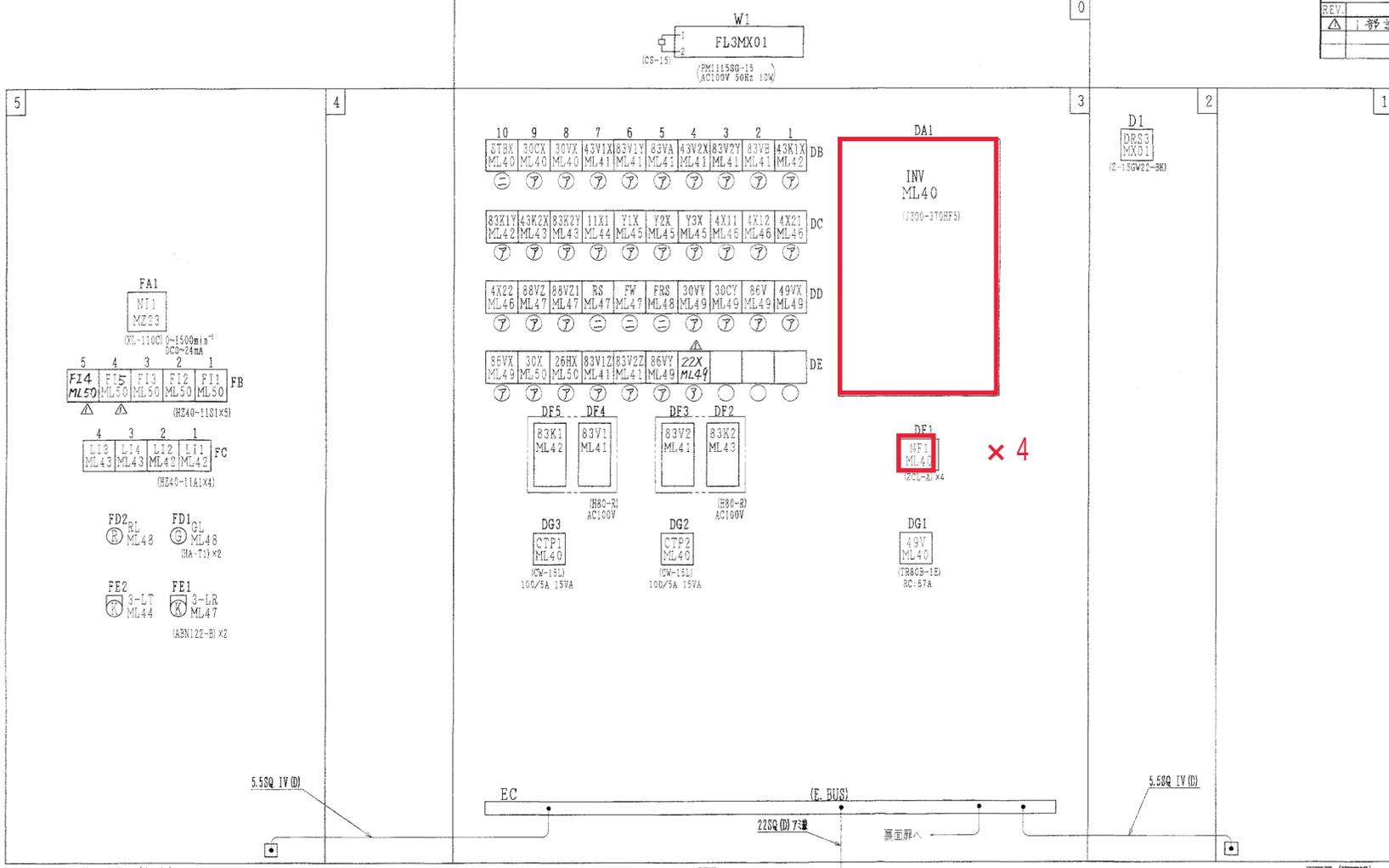
工計回路		Sheet No.	M723
SIGNATURE	DATE	TITLE	
DWN. (助川)	2002-12-25	展開接続図	
CHKD. 中西	2002-12-25		
APPD. 佐藤	2002-12-25		
REGD. Hitachi, Ltd. Tokyo Japan	OMIKA DWG. No.	PAGE	REV.
	331SGA9386	15	3

2003/02/03 M723 A216126 (大岩藤)

# 大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事

赤枠は交換品

REVISIONS					
REV.	DESCRIPTION	REVD.	CHKD.	APPD.	DATE
△	部訂正	(深作)	中西	佐藤	2003-12-18



正面屏 (裏面観)

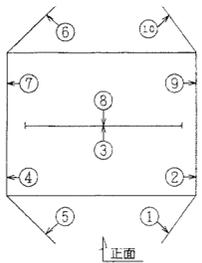
正面

正面屏 (裏面観)

### 形式詳細

記号	形式	電圧	記号	形式	電圧
㊦	MY4ZN	AC100V	㊦	SR110-240M	AC100V
㊧	MY4ZN-D2	DC100V	㊦	M42P	AC100V
㊨	MY4ZN-D2	DC24V	㊦	H3Y-2	AC100V
㊩	H3M-HB	AC100V	㊦	WK3001	
㊪	H3M-HB	DC100V	㊦	3170	
㊫	MK2KP	AC100V	㊦	X4	AC400V
㊬	MK2KP	DC100V	㊦	MY4ZN-CBG	AC100V
㊭	NRC211L-15AAA-H	AC	㊦	HR-DS	
㊮	NRC211L-10AAA-H	AC			
㊯	NRC211L-5AAA-H	AC			
㊰	NRC211L-3AAA-H	AC			
㊱	NRC211L-3AAD-H	DC			
㊲	NRC211L-10AAD-H	DC			
㊳	NRC211L-3AEA-H	AC			
㊴	NRC211L-3AED-H	DC			

(周波数: 50Hz) (周波数: 50Hz)



正面

種類	デバイス	用途名称	備考

盤番: MVV01  
 用途: 汚水ポンプVVVF  
 製番: 216126-1

SIGNATURE	DATE	TITLE
DWG. (深作)	2003-12-25	実装図 (1/2)
CHKD. 中西	2003-12-25	SCALE
APPD. 佐藤	2003-12-25	
REGD. Hitachi, Ltd. Tokyo Japan	OMTKA DWG. No.	PAGE REV.
	331RG86509	△

※デバイスNo. 記入なきものは未実装のこと

類似図番: 028100126



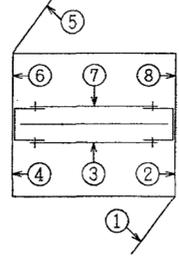
REV.	DESCRIPTION	REV.	CHKD.	APPD.	DATE	MTR.
△	配水設備工事の10	②	中野	佐藤	2021-1-7	
△	排水設備工事の10	(佐藤)	村上	小野	2006-12-20	
△	排水設備工事の10		村上	小野	2021-06-24	

### 大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事

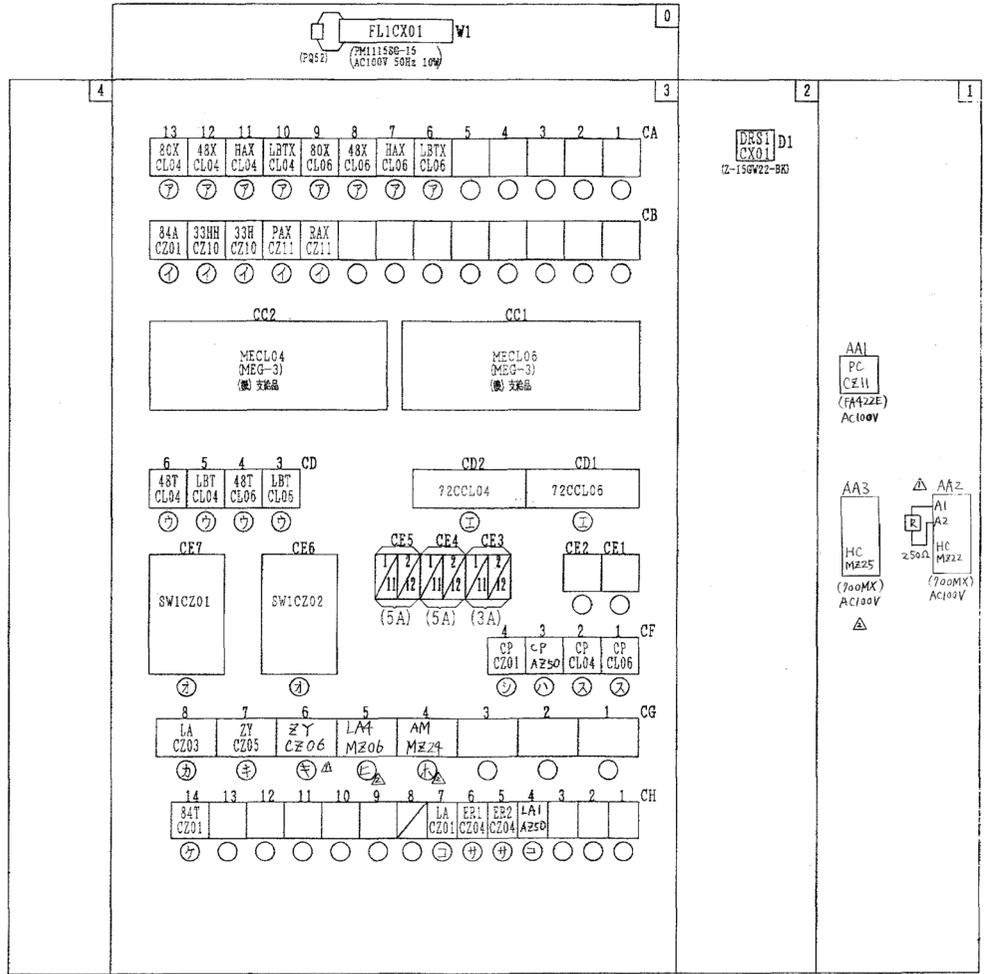
記号	形式	電圧
⑦	MY4ZN-D2	DC100V
①	MY4ZN	AC100V
②	H3M-HB	DC100V
③	H20-G	DC100V
④	SWB-6	-
⑤	Z10VAS	AC100V
⑥	200IC (出力DC4~20mA)	AC100V
⑦	Z00RY	AC100V
⑧	H3Y-2	AC100V
⑨	HR-PW	AC100V
⑩	HR-DS	-
⑪	NRC211L-10AAA-H (10A)	AC100V
⑫	NRC211L-10AAD-H (10A)	DC100V
⑬	Z10AD	AC100V
⑭	MY4ZN-CBG	AC100V
⑮	BN-46-C	-
⑯	Z10AM	AC100V
⑰	TP2-A7F1	AC100V
⑱	S-822	-
⑲	200IC (出力DC0~5V)	AC100V
⑳	NRC211L-5AAA-H (5A)	AC100V
㉑	Z20VAS-2	AC100V

(周波数: 50Hz)

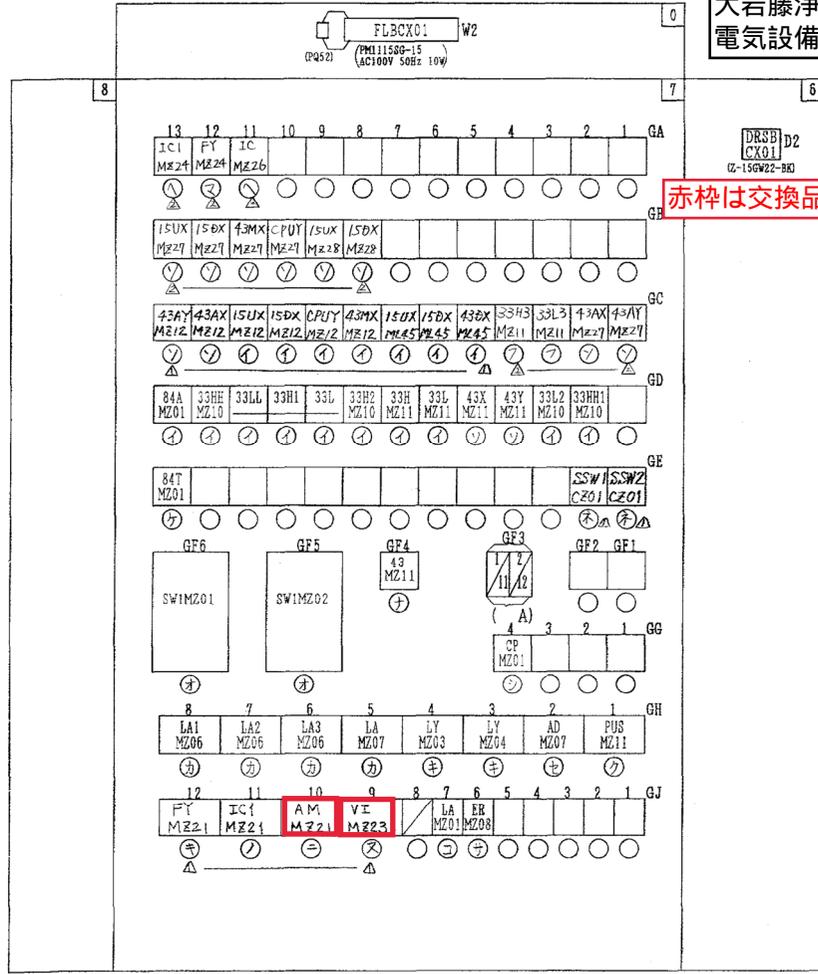
赤枠は交換品



正面



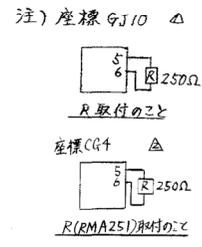
正面



裏面

座標	デバイスNo.	銘板記入内容文字	備考	座標	デバイスNo.	銘板記入内容文字	備考
CE7	SW1	流入兼水位計電源箱	△	GF6	SW1	No. 1ポンプ水位計電源箱	
	SW2	流入兼水位計電源箱	△		SW2	No. 1ポンプ水位計電源箱	
	SW3	沈砂ホッパー用電圧変換器			SW3	No. 2ポンプ水位計電源箱	
	SW4	(無名称)			SW4	No. 2ポンプ水位計電源箱	
	SW5				SW5	ポンプ水位計電源箱	
	SW6				SW6	ポンプ水位計電源箱	
CE6	SW1	No. 1流入ゲート開度		GF5	SW1	汚水圧差計電源箱	
	SW2	No. 2流入ゲート開度			SW2	No. 1流入ゲート開度計電源箱	
	SW3				SW3	No. 2流入ゲート開度計電源箱	
	SW4				SW4		
	SW5				SW5		
	SW6				SW6		

座標	デバイス	用途名称	備考
CE5	EFCL04	No. 1流入ゲート用緊急閉鎖電源	DC100V
CE4	EFCL06	No. 2流入ゲート用緊急閉鎖電源	DC100V
CE3	EF1CX01	緊急閉鎖	AC100V
CF3	CPAZ50	計測電圧	cvcF AC100V
CF4	CPZ01	沈砂池計測電圧	AC100V
CF2	CPCL04	No. 1流入ゲート用緊急閉鎖電源	DC100V
CF1	CPCL06	No. 2流入ゲート用緊急閉鎖電源	DC100V
GF4	43MZ11	ポンプ水位計 No. 1 - No. 2	
GF4	CPMZ01	汚水ポンプ計測電圧	AC100V
GE2	SSW1CZ01	流入兼水位計電源箱	
GE1	SSW2CZ01	流入兼水位計変換器	
CG5D	LA4MZ06	3台目運転水位	
CG5C	LA4MZ06	3台目停止水位	



注) 座標 GJ10 △  
R取付のこと  
座標 CG4 △  
R(RMA251)取付のこと

盤番	CE01
用途	沈砂池・汚水ポンプ計測電圧変換器盤
製番	214417-1

SIGNATURE	DATE	TITLE
DWN: 中村	2001.8.3	実装図 (1/1)
CHKD:		SCALE
APPD: 佐藤	2001.8.3	
REGD:		
Hitachi, Ltd. Tokyo Japan	OMIKA-DWG. No.	PAGE REV.
	331RG79211	

※デバイスNo. 記入なきものは未実装のこと

類似図番: d2j100094

# 参 考 資 料

(総括情報表)

事務所 設計書名 変更回数	公益財団法人とちぎ建設技術センター 実施設計書 当初 第 07-05-04 号 0	
適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	実施単価 栃木土木事務所管内 07.05.10(0)	
諸経費体系 ファイル名	下水道用設計標準歩掛表－第2巻 ポンプ場・処理場－ 大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事	
	当 世 代	前 世 代
前払い率 工種 設計技術費 契約保証方法 週休二日補正区分 消費税の率	40% 電気設備 計上しない 金銭的保証(補正值0.04%適用) 補正なし 消費税等率10%適用	
		この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資 するための資料であり、契約書第一条にいう設計図書ではな い。

# 数量計算表

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
本工事費					
大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事					
機器費					
インバータ	型式:P1-370HFF 400V、37kW、3相	台		1	
コンバータ	型式:HS910-370HF 400V、42kVA、3相	台		1	
電源側交流リアクトル	型式:ACL-G1-37H5 400V、37kW	個		1	
本体側交流リアクトル	型式:ACL-G2-37H5 400V、37kW	個		1	
出力側交流リアクトル	型式:ACL-H2-37 400V、37kW	個		1	
ラジオノイズフィルタ	型式:ZCL-A 400V、37kW	個		4	
アイソレータ	型式:TP2-A7F1	個		1	
アナログメモリ	型式:210AMA	個		1	
共通仮設費					
準備費(積上分)					
産業廃棄物処理	産業廃棄物収集運搬及び処分	式		1	

## 公表単価一覧表

工事名

大岩藤浄化センター 電気設備修繕工事

項目	細別	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
<b>【機器費】</b>							
インバータ	型式:P1-370HFF 400V、37kW、3相	台	5,220,000			○	
コンバータ	型式:HS910-370HF 400V、42kVA、3相	台	6,030,000			○	
電源側交流リアクトル	型式:ACL-G1-37H5 400V、37kW	個	630,000			○	
本体側交流リアクトル	型式:ACL-G2-37H5 400V、37kW	個	1,020,000			○	
出力側交流リアクトル	型式:ACL-H2-37 400V、37kW	個	496,000			○	
ラジオノイズフィルタ	型式:ZCL-A 400V、37kW	個	243,000			○	
アイソレータ	型式:TP2-A7F1	個	182,000			○	
アナログメモリ	型式:210AMA	個	339,000			○	
<b>【労務費】</b>							
一般労務費		式	2,260,600		○		
技術労務費		式	1,940,000		○		
<b>【準備費】</b>							
産業廃棄物処理	産業廃棄物収集運搬及び処分	式	132,000	○	○	○	

(備考)

- 1 本表に掲載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の単価を示す。  
「機」機械器具等の損料または賃料  
「労」労務費  
「材」材料費